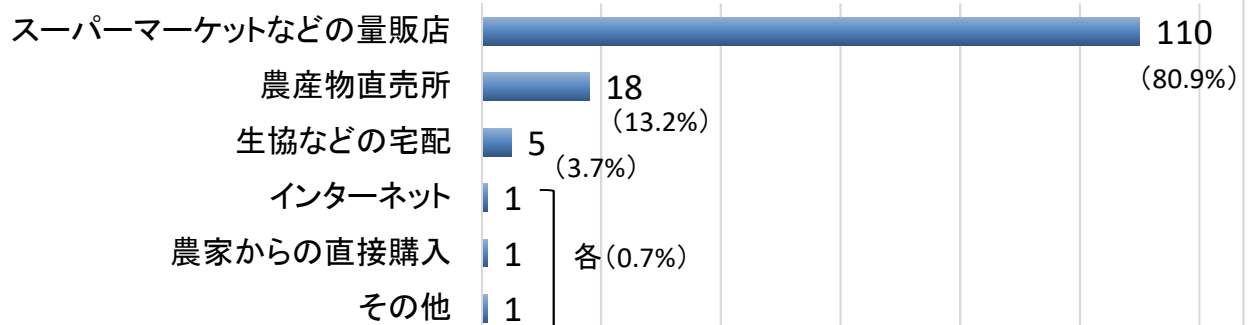


令和7年度第1回県政モニター調査結果

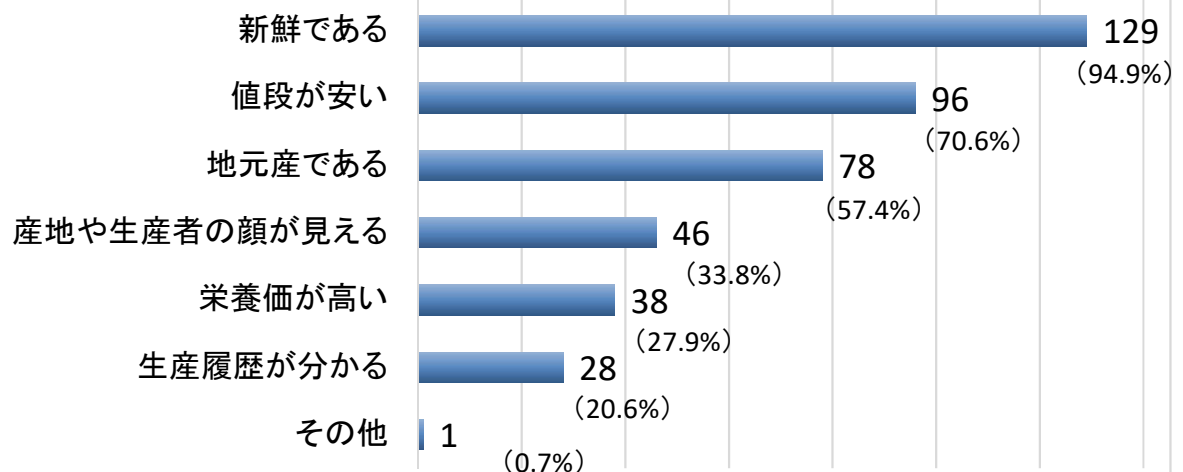
経営技術課 生産環境係
(TEL : 099-286-2891)

- テーマ 『環境との調和に配慮した有機農業』に関する県民の意識調査
- 調査の目的 有機農業に関する調査を実施し、環境との調和に配慮した産地づくりの推進の参考とする。
- 実施月 令和7年5月
- 調査対象者数 200人
- 回答者数 136人 (68.0%)

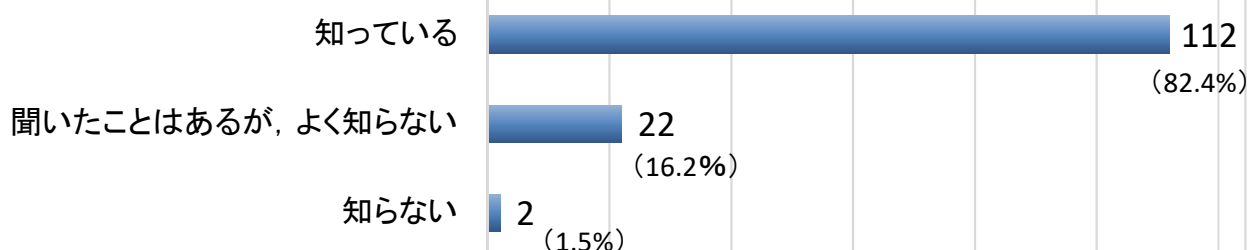
問1 農産物の購入でよく利用する方法は。



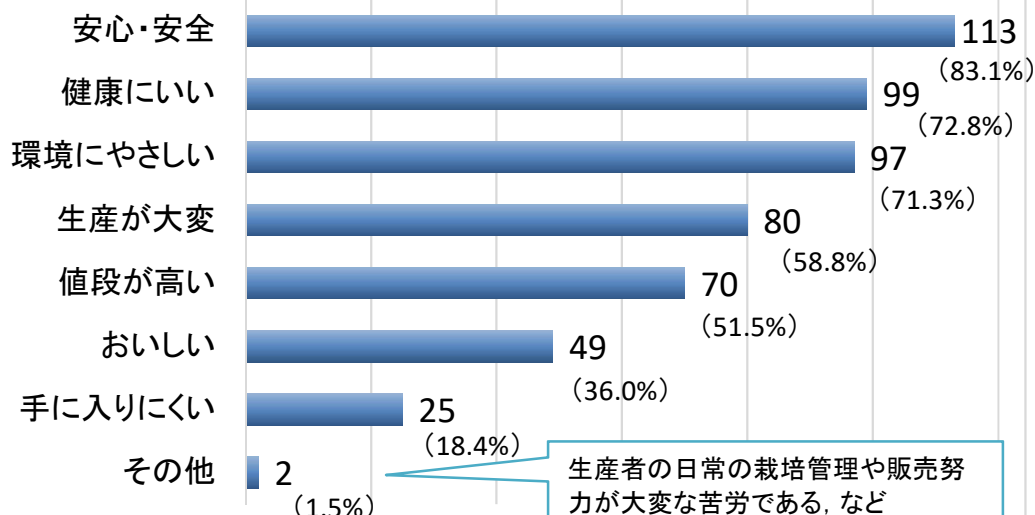
問2 農産物を購入する際に気をつけていることは。(複数回答)



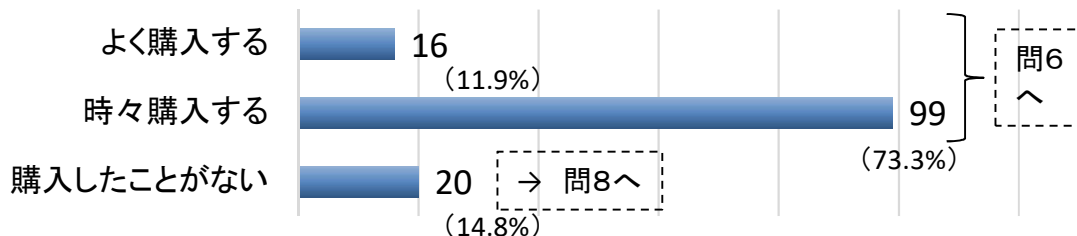
問3 有機農業を御存じですか。



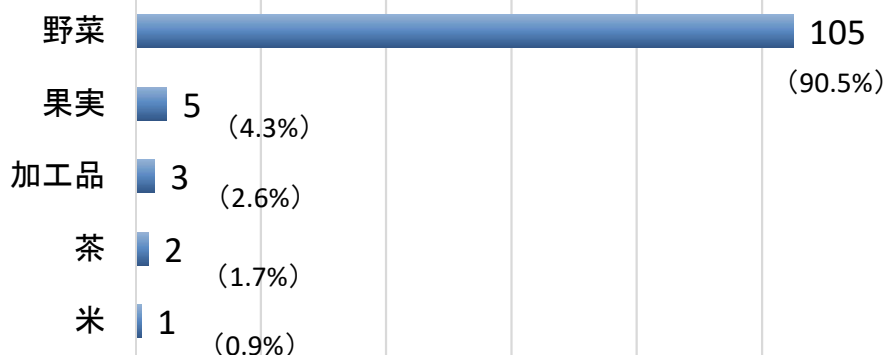
問 4 有機農業や有機農産物のイメージとして当てはまるのは。（複数回答）



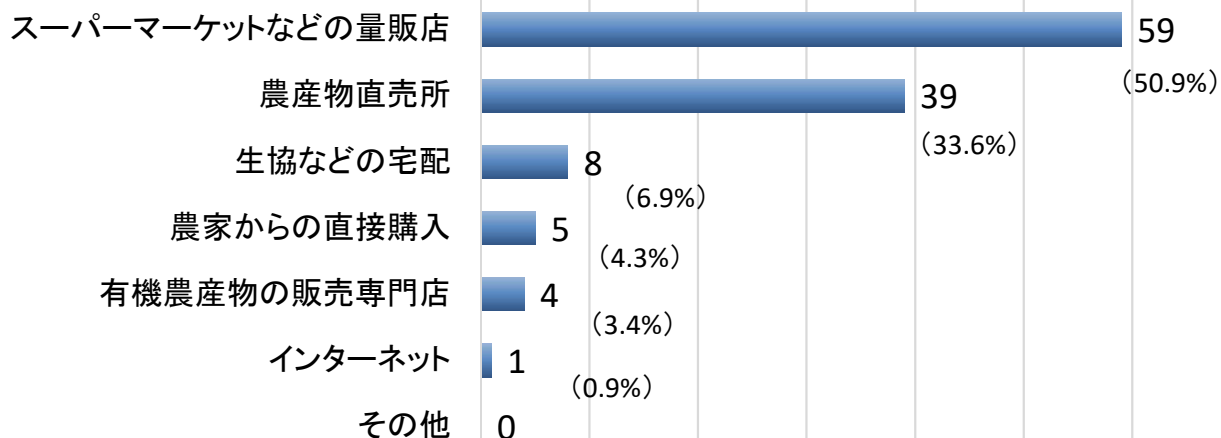
問 5 有機農産物を購入したことは。



問 6 購入する有機農産物等食品は。

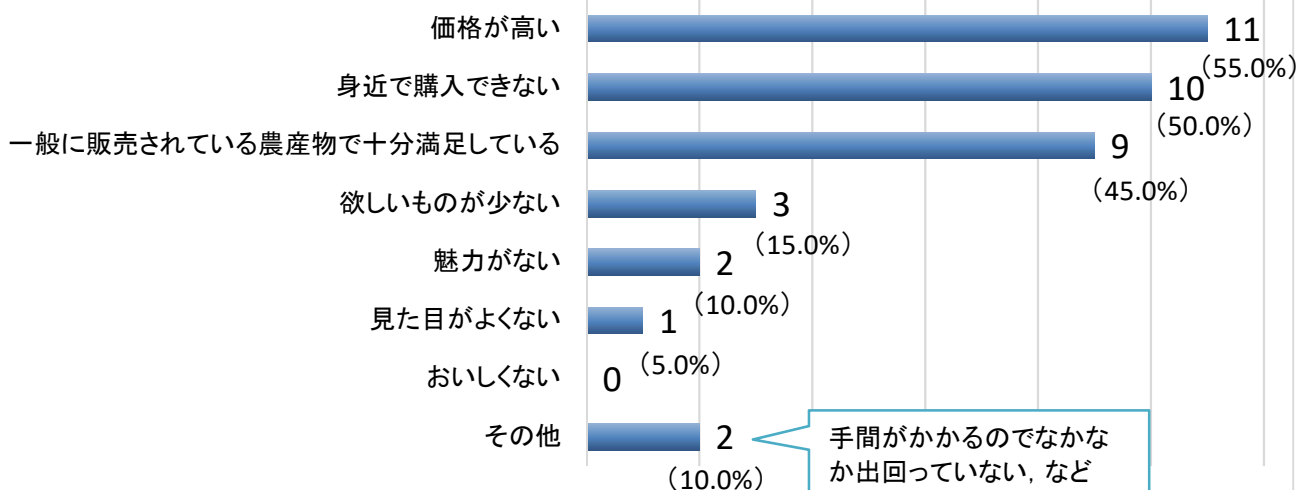


問 7 有機農産物の購入でよく利用する方法は。

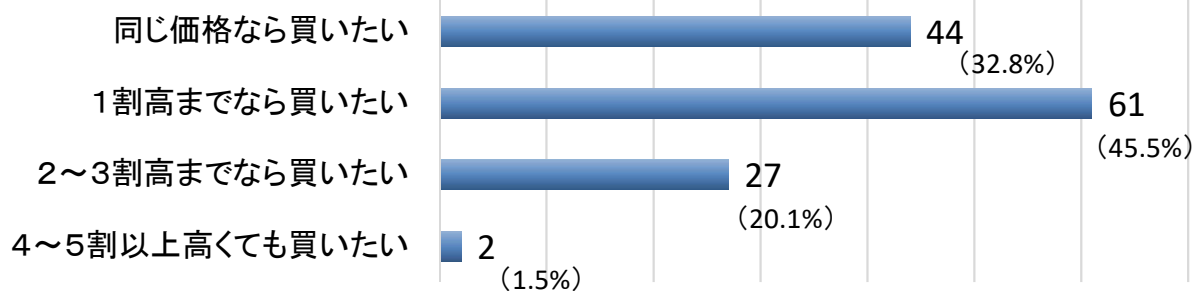


問8 有機農産物を購入したことがない理由は。

(複数回答)

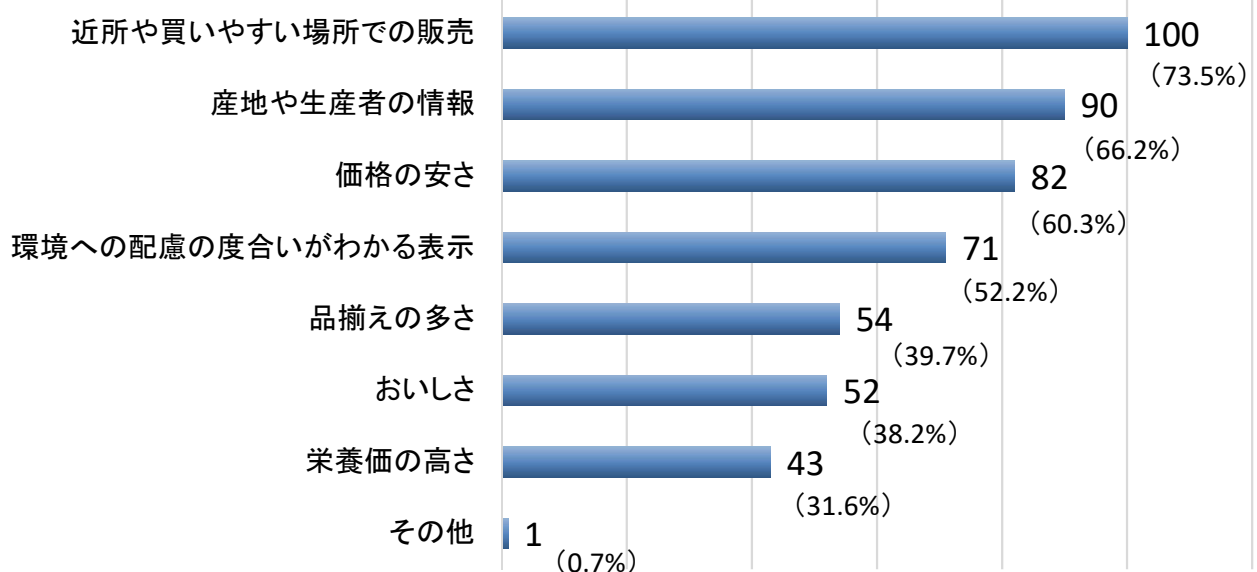


問9 有機農産物を購入する際の一般の農産物との価格差は。



問10 多くの人に有機農産物を購入してもらうため必要なことは。

(複数回答)



問11

環境に配慮した農業（有機農業や化学肥料・化学農薬の使用量低減）の取組について、御意見・御要望等ありましたら記入してください。

（多くの御意見・御要望をいただきました。一部のみ掲載します。）

最近では、多くの農家がこのような取組をすすめていると思う。

知っている農家の皆さんが精一杯育てた商品を手に取ると嬉しくなります。やはり農家の皆さんの顔と顔のつながる関係性を構築できたらいいと思います。

指宿ではじめているIPM農法で作ってるオクラはよく好んで食べてます。農業する方達がいる、私達の食生活も保たれているので、少しくらい値段が高いのは許容範囲です。

有機農法は手間暇がかかり大変なので、なかなか価格も下がらず、一般的には買えないのが現実。価格が下がれば手が出しやすいと思う。

有機農業は手間がかかり、大量生産するのは大変でしょう。生産者が増えるような国の農業支援政策も必要ではないでしょうか。

国民の食の安全安心向上のために、今後も有機農業がしっかり稼げる環境整備に官民あげて取り組んでもらいたい。

環境にいい取組で今後進めていくべき取組であると思うが、物価高の中でどうしても価格の安い物にはしってしまう。その辺が課題か。

扱い店舗等で他の生産物等と区別した専用コーナー（売場）を設けて欲しい。

端的に言って有機農業は、環境負荷の軽減は望めるが、手間やコストの増加、また品質の安定化・収量など難題も多々存在するようだ。それを消費する側の理解も、現時点では理解が薄い。効果的な有機肥料など改革が進み、収量、コストなどの問題解決が最優先ではと思います。取り組み・消費には大いに協力しようと思います。